



## 政局最終盤

### 何があるかわからない

最終盤、解散総選挙についての大方の見立ては自民党が9月末任期の総裁選挙を後倒ししてオリ・パラ直後に菅総理による解散、投票日が10月10日か17日と言う総選挙です。菅総理が描く①オリ・パラを成功裏に開催しお祭りムードで支持率回復②ワクチン効果で感染が落ち着いた状況で解散して勝利③後倒しした総裁選で再選を狙うという思惑に基づく見立てと言えます。

しかし、7月上旬のマスコミ世論調査で内閣支持率が30%前後まで落ち、菅政権発足後最低の数字を更新。しかも、五輪大成功や感染抑制もままなりそうにありません。そんな選挙の顔として不安絶大な菅総理に自民党が、また自民党議員が唯々諾々と自らの首を預けるのでしょうか。



全国テレビ中継予算委員会での総理質問

先日、大臣経験のある複数の自民党大物議員がそれぞれ「小池新党と保守合同を」「小池氏と連携を」と発信しました。自民党の小池人気を活用しようという思惑と小池氏自身オリ・パラが終われば都知事に執着はなく総理を目指すはずという推測が混じり合った発信です。もちろん可能性は、と問われれば私も低いと答えます。しかし、小池氏が新党を作る、又は自民党から出馬する、どちらの場合でもインパクトは大きく野党にとって脅威である事は事実です。

更に菅総理にとって総裁選日程の後倒しも大きなハードルになるかも知れません。

自民党側によると8月末日までに総裁選日程を決める事になっています。そこで巷間囁かれているのは8月末日までに党則を改め総裁任期を本来の9月30日から3ヶ月間、即ち年末まで延長するというものです。それならばオリ・パラ直後解散から、とすれば法律上可能で最も遅い衆院任期満了日10月21日解散・11月28日投票まで菅総理には自由な解散時期が白紙委任されます。

恐らく後倒しについては現状の緊急事態宣言の最終日である8月22日以降に決定されると思いますが、その時点で宣言が解除されない可能性もあります。また、8月22日は菅総理の地元横浜市選の投票日。菅総理が推す小此木元衆議員が落選するような事があれば宣言延長とダブルで菅総理の求心力は後退。「菅降ろし」が本格化し総裁選が規定通り総選挙の前に行われる事も考えられます。



答弁する菅総理

そうなると次は誰か、は中々難しい。ただ、菅総理よりましという発想で野田聖子さんや驚天動地の安倍さん再々登板など、選挙に勝つ（負けない）為なら何でもありが自民党、と受けるこちら側も何でもありを覚悟しておかなければいけません。これが危機管理というものです。私たちはこうなれば良い、という希望的観測を抱くのではなく最悪な状況でも勝ち抜く、という活動を続けるのみです。

## 任期4年を振り返る

### 党の趨勢

まずは野党のかたちについて。4年前の総選挙は「希望の党」騒動で当時の民進党は立憲民主党、希望の党、無所属の3つに分裂。私は無所属で出馬し、当選後は13名からなる衆院会派「無所属の会」を結成しました。その後、私も無所属の会も野党結集の為に水面下で汗をかき、1年半後には立憲民主党の会派に無所属の会が合流。その半年後に立憲民主党、国民民主党、社民党、無所属議員による統一会派「立・国・社」を結成（私は同時に立憲民主党に入党）。そして1年前に109名からなる新生立憲民主党を誕生させました（国民民主党には7名が残留）。丸3年掛かりましたが、以前の民進党93名を上回り、かつ考え方の違う人が自民党に移った事で量においても質においても与党と対峙でき得る結束した強力な野党第1党になったと自負しております。



ワクチン接種推進チーム

### 私の活動

さて、この任期中、特に私たちが統一会派を組んでからの2年間、自民党政権は目を覆わんばかりの失政、失態を繰り返してきました。私は国会対策委員長代理という重責を担った関係でその時々々の案件を時には予算委員会で、時には野党ヒアリングチームの最前線に立ち徹底して政府与党を追求し続けたのです。

時系列で主な事案と私の役割を列挙します。まずは①「桜を見る会」問題。私は説明

チーム座長として、また予算委員会で徹底追及。②河井克之元法務大臣買収事件。私は追及チームの一員となり、また、法務委員会で河井大臣を追求する予定でしたがその前日急遽河井大臣が辞職してしまいました。③黒川検事長定年延長、検察庁法改正。この事案でも私は説明チームの一員となり、予算委員会では何度も取り上げました。④コロナ関連。私は野党合同の感染実態説明チームの責任者となりヒアリングでの追及、予算委員会での質疑。また、Go toトラベル・持続化給付金不明朗経費問題では追及チームの一員として何度も現地視察に赴きました。⑤日本学術会議任命拒否。私は追及チームの責任者として連日ヒアリングを主催しました。⑥菅総理長男総務省違法接待。私は追及チームの責任者となり、予算委員会でも何度も質問に立ちました。⑦出入国管理法改正、スリランカ人女性死亡事案。私は出入国管理法改正の与野党修正協議（与党2人、野党2人）の野党側代表となり画期的な修正案の取りまとめに成功。しかし、スリランカ人女性の施設内録画の開示を法務省が拒んだために修正案は幻となりましたが、出入国管理法改正案は廃案に追い込みました。⑧東京オリ・パラ総点検。私は野党チームの副座長となり成田空港や選手村の視察を行い、オリ・パラによる感染拡大の抜け穴を再三再四指摘しました。



オリパラ点検チーム・成田空港視察

かように問題続出の安倍・菅政権。そのせいで私は大忙しの国会対応に追われる事となりました。一言で言えば安倍・菅長期政権の驕りと強権的な体質が問題の本質的原因です。この様に歪んで壊れかけている国家の中枢を立て直す為の一大決戦が秋の総選挙となります。